

- 延岡市では近隣の大型製材工場や大型バイオマス発電所の稼働により、木材需要が高まり、伐採面積が増加している。また、森林所有者の高齢化や後継者問題のため、再造林をはじめとした森林整備の対策が必要となっている。
- そのため、森林の持つ公益的機能の発揮及び循環型林業の促進を図るために、再造林への支援をはじめ、保育作業や作業路の開設の支援を行い、森林資源の確保につなげた。
- また、森林所有者の造林意欲が希薄なことから将来の林業の継続が危ぶまれるが、各種支援を行うことで循環型林業の確立につながるだけでなく、植栽やその後の保育について安定的な雇用の確保が可能となり、山村地域の貴重な産業となっている。

□ 事業内容

循環型林業促進事業

森林経営計画の認定者等が実施する新植や保育作業、森林整備を伴う国や県の補助対象とならない作業路の開設に対し支援し、森林資源の確保を図る。

【事業費】 30,830千円（うち譲与税6,650千円、その他24,180千円）

【実績】 新植173.7 ha、下刈1,042.3 ha、除伐（7～10年生）106.5 ha
 除伐、保育間伐58.7 ha、作業路開設 900 m

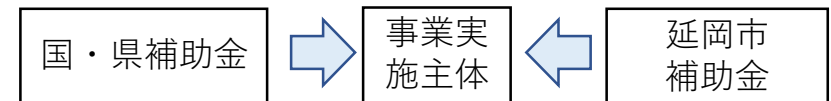


新植状況



除伐状況

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

新植から下刈り、除伐、保育間伐を支援することにより、林業施業に空白の期間がなくなり、年間通して作業が可能となり、森林整備の推進と併せて雇用の確保を図った。

再造林の推進を図るため、伐ったらすぐ植える体制となるよう森林所有者の負担をなるべくなくすよう支援を行い、再造林に対する意識の向上に努めた。

□ 基礎データ

①令和5年度譲与額：150,100 千円	②私有林人工林面積（※1）：20,395 ha	
③林野率（※1）84.7%	④人口（※2）：118,394人	⑤林業就業者数（※2）：378人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より